

「今年のにほんごコンテスト2018」  
入賞作品一覧

□一般の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
1 席	「ことほぐ『寿』」	山崎 雅代	石川県	言葉という祈りを捧げ、お祝い事を招き入れる。 古の時空間から「ことほぐ」気持ちは今後もずっと無くなる事なく生き続けていく言葉と信じてなりません。 母の喜寿祝いを山代温泉にてさせて戴きました。飾り包丁で「寿」の人参があり、言葉の美しさを含めて、改めて職人さんの気持ちに感動を覚えました。 この言葉を使える日本人で良かったと思った1日でした。
2 席	一滴千山を潤す (いってきせんざんをうるおす)	橋本 佐和子	石川県	こつこつと毎日少しずつ積み重ねてゆくことの大切、継続することの大切さ、実行することの大切さを心に刻んでいます。
	雨過天晴 (うかてんせい)	牧野 啓子	石川県	かつて夫の癌宣告を受け、失意の中にいた私を救ってくれた言葉です。当時12時間に及ぶ手術を受け、術後5ヶ月に渡る入院生活の中、私達を勇気づけてくれた一言でした。ある書道展で出会い、力強い筆裁きの作品に大いに惹かれしばらく書の前に立ち尽くしました。「雨が過ぎれば必ず美しい青空が待っている」という意味です。あれから5年、少々不自由さがありますが以前の生活を少しずつ取り戻しつつあります。
	むつむ	河田 敦	北海道	年明けに、新しい家族の柴犬「れん(れんの羊羹から命名)」を迎えました。家族の一員としてすっかりむつんでいます。一方、山代の実家では、85歳を超えた母が一人暮らししています。母が住み慣れた地で暮らし続けられるのは、地域の方々が、総湯でお喋りしてくださったり、美味しいものをお裾分けしてくださったりと睦んでくださるからです。オリンピックも開かれる今年、多くの人が、むつむ心を大切にしていければと思います。
3 席	しなやか	伊藤 良美	東京都	どんな状況に置かれても柔軟に対応し、人様に対して角が立たない態度をとれる…そんな「しなやか」な生き方をしたい。
	たおやか	荒木 一衣	埼玉県	子供2人の受験もやっと終わるので、今年は我が身を振り返り、生まれ変わる年にしたいです。今まで子供(それも男子)第一に生活してきたので、身なりも言葉遣いも荒く、大らかではあるけれど何事もがさつに毎日を送ってきた様に思います。 今年は身なりから女性らしく整え(時代に逆行してるかな?)、優雅な振る舞いで気持ちに余裕を持ち、新しいボランティア活動にも足を踏み入れるつもりです。
	ああよかった	阿部 理恵子	神奈川県	日々いろいろなことは起きますが、夜お風呂にはいってホッとして、「ああよかった」と思える毎日を過ごしたいと思います。雑問を抱え忙しいながらもお家に帰ってこられたことにホッしたり、困ったことが解決できてホッしたり、もちろん、楽しいことばかりの日も。
	温泉のない、日本なんて。	谷口 敦子	石川県	山代温泉という土地で、五十音図が生まれた偶然を大切にしたいと思います。そして、日本人が大好きな温泉が、もしなかったら…いやいや、なかったら大変でしょ!という気持ちをのせてみました。みんなで温泉に入りましょう。
	たおやか	北村 政樹	石川県	豪雪にも、激変する世界の状況に対しても、芯をしっかりと持ち、しかし柔軟に対応し、ささくれ立つ事なく、皆で力を合わせ、また力を分散し、美しい調べを奏でられる年となってほしい。
	あそぼう	上谷 おうが	石川県	
	ゆらゆらら	田中 はな	石川県	山代温泉に来た観光客たちが、温泉につかって「ゆらゆらら」と、いやなことなどわすれて、楽しい思い出をこの山代温泉に残して行って、その楽しかった思い出を何年たっても忘れないでほしいと思ったからです。
恩倍返し	高辻 雄乃	石川県	母や友達や先生その他にも、たくさんの人に応援や悩みを聞いてもらったりそのアドバイスをしてもらったので去年もらったその恩を風呂掃除や、血洗いや、部活の成績などのきちんとした形で返したいです。去年は恩を返すチャンスはありましたが、そのチャンスを逃してしまったので、今年こそチャンスをまたつかんで返せたらいいなと思います。一気にでかいチャンス一回で返すのではなく、日頃から何かしてくれた時は、ありがとうと言ったり、今でももらった小さいことでもいいから、困っていたら助けることを頑張って恩を返したいと思います。	

## □一般の部

(順不同・敬称略)

別	今年のほんご	応募者名
特別賞	たべごしらえ	加藤 周生
	先も立ち、我も立つ	加藤 弘道
	父のように。	金澤 百合座
	日々是気付	山崎 くるみ
	もういいか より まあいいか	亀田 奈津美
	良心は笑顔から	小澤 朋弘
	結進	平尾 新太郎
	”平和と温泉 同じだね”	菅原 よし江
	健力発気	山本 英子
	ぐにゃぐにゃでいこう	坂本 佳与子
	心がほっこり	納谷 典子
	あとっぱ	山田 颯太
	身についたものは盗られん	久保田 雅裕
	気の毒な～	前田 恭子
	きのどくなぁ～	中道 亜子
	守破離	れん 貴大
	ほんとうのことを学ぶ	大寺 康夫
	ゆるゆる、にこにこ	久保 加緒里
	ことばを紡ぐ	久保田 雅裕
	たすけあおうぜ!	笠原 ひろたか
	太陽より輝く笑顔を!	法貴 琉華
	働かざる者工夫を覚える	下村 一磨
	おもいあい	山田 純生
	愛しき日本 懐かしき平成	牧野 裕
	にっこにこの平成30年	水戸 香奈
	指切りげんまん	上田 江里樺
	花を咲かす	山谷 真理
	加賀有善	中出 悠
	折り愛	岡山 拓生
	はふはふ	上田 夏美